

第2章 美馬市及びモデル地区の学校施設の現状

第2章 美馬市及びモデル地区の学校施設の現状

本章は、学校施設調査結果に基づいて本市及びモデル地区（美馬地区）の学校施設の現状について取りまとめる。

1 調査の概要

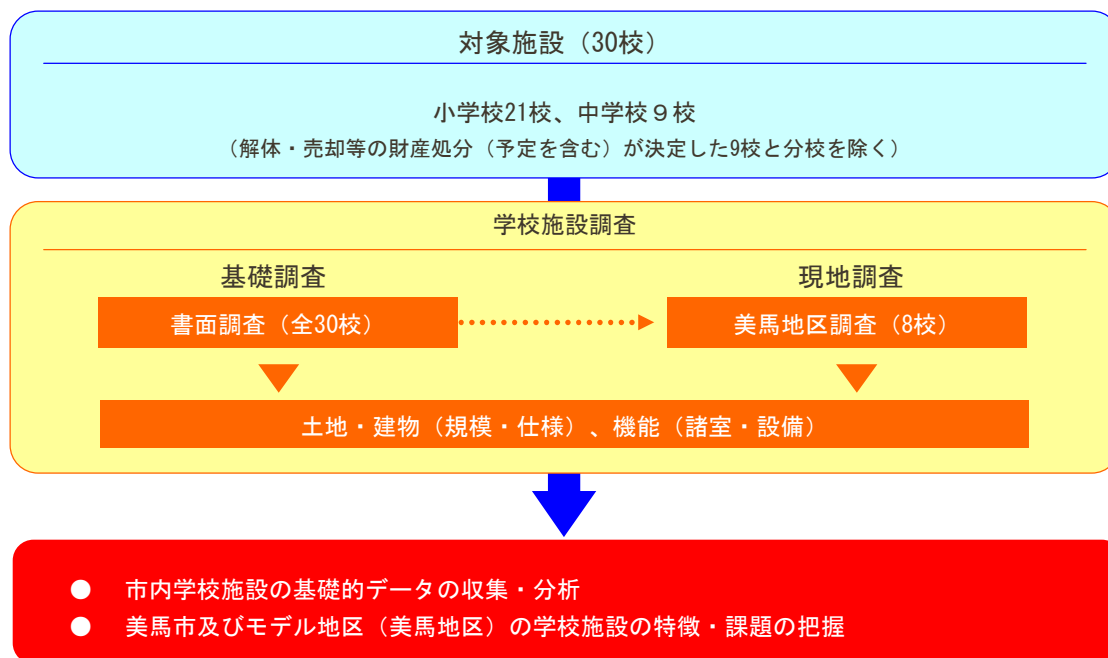
市内30校（小学校21校、中学校9校）を対象に学校施設調査を実施した。解体・売却等の財産処分（予定を含む）が決定している学校施設（9校）及び分校の施設は除いた。

調査では、学校施設の土地、建物（規模・仕様）、機能（諸室・設備）等を明らかにすることを目的に①基礎調査（書面調査）、②現地調査を実施した。

基礎調査は書面調査方式で、教育委員会（教育総務課）の管理データ、既存資料等から学校施設に係る基礎的データを収集した。

現地調査については、モデル地区（美馬地区）内の廃校を含む小学校7校（現在校：郡里、喜来、芝坂、重清東、重清西、廃校：切久保、重清北）、中学校1校（美馬中学校）の計8校を対象に、施設の配置状況、諸室・設備の状況について把握した。現地調査の方法、実施日程は次頁のとおりとなっている。

図表2-1 調査のフロー



図表 2-2 現地調査の方法

<p>① 調査手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主要核施設の外観を確認し、外壁仕上げ、劣化（ひび、はがれ等）を目視にて記録 ● 台帳がある場合→内部全体を一巡、部屋数、部屋名、間取りを台帳と照合。教室の寸法を照合 ● 台帳がない場合→内部全体を一巡、部屋数、部屋名、間取り、寸法を入れた略図（台帳程度）作成。教室内部の縦×横×天井高さを計測（黒板に向合う方向を縦に）。天井高さは一番高い箇所を計測。後日、台帳または略図を基に簡易図面作成 ● 普通教室については、内部仕上げ（床：木製フローリング、壁：塗装、クロス貼等、天井：吸音板）、劣化、サッシ・ガラスの種類、教室の設備、消防設備の確認及び写真撮影 ● 特別教室については、普通教室の調査作業に加え、各教室に設置されている設備等について把握 ● トイレ、流し等の水廻りの確認 ● 調査表の記入漏れがないか最終確認。特別教室棟がある場合は上記と同じ、体育館・プールは事前入力寸法を確認、補完 	
<p>② 写真撮影</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 校庭を含む校舎全景、各棟全景撮影 ● 入口（靴入れ）、校庭、普通教室内部（後ろ窓側から黒板に向かって部屋全体を撮影） ● 各特別教室内部、体育館外観、内観、プール。（可能であれば）劣化箇所や内部仕上げ、設備等を撮影 	

図表 2-3 調査の実施日程

区分		1 班	2 班
平成 25 年 10 月 2 日(水)	午後	芝坂小学校（現在校）（合同）	
平成 25 年 10 月 3 日(木)	午前	郡里小学校（現在校）	重清東小学校（現在校）
	午後	切久保小学校（廃校）	重清西小学校（現在校）
平成 25 年 10 月 4 日(金)	午前	喜来小学校（現在校）	美馬中学校（現在校）
	午後	重清北小学校（廃校）	—

2 美馬市の学校の現状

(1) 公共施設に占める学校施設の状況

平成25年4月現在、市内には公共施設518棟が整備されている。このうち、小・中学校は121棟、幼稚園23棟、計144棟となっている。公共施設総数に占める割合は小・中学校が23%、幼稚園が4%で、両者を合わせると28%を占めている。

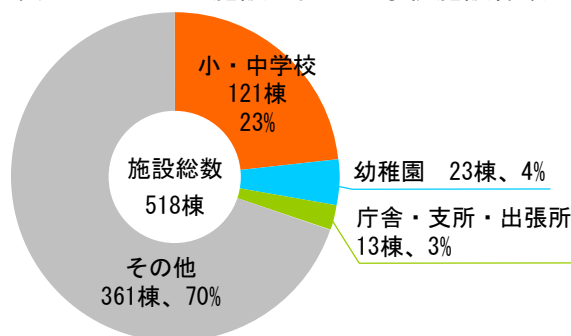
建物延床面積をみると、市内公共施設の総延床面積24万5,800㎡のうち、小・中学校は8万6,500㎡、幼稚園4,656㎡、計9万1,156㎡となっている。公共施設総延床面積に占める割合は小・中学校が37%、幼稚園が2%、両者を合わせると39%となっている。

このように本市の公共施設に占める学校施設の割合は非常に大きく、学校施設の有効利活用を図ることは、本市の公共施設マネジメントの観点からみても極めて重要となっている。平成23年に策定した「美馬市公共施設の再編整備に関する基本方針」に掲げられた学校施設に係る方針をみると、①当面は現状維持を図りつつ、将来的には、②学校再編計画に基づく再編、③休校校舎の有効利活用を図ることとしている。

(2) 市内小・中学校の概要

地区別にみた学校の状況は、美馬地区8校(27%)、脇町地区11校(36%)、穴吹地区9校(30%)、木屋平地区2校(7%)となっている。地区別の小・中学校の状況は、美馬地区は小学校7、中学校1、脇町地区は小学校8、中学校3、穴吹地区は小学校5、中学校4、木屋平地区は小学校1、中学校1となっている。

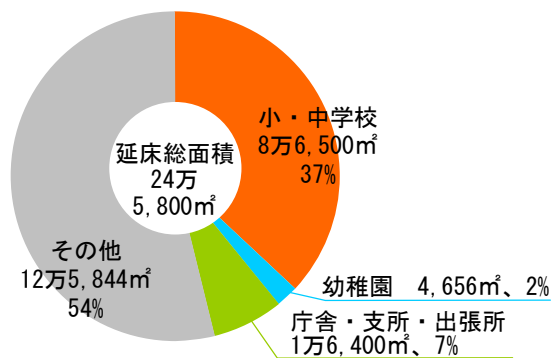
図表2-4 公共施設に占める学校施設棟数



小・中学校・幼稚園
施設数の合計144棟、28%

資料：美馬市「美馬市公共施設の再編整備に関する基本方針」（平成23年3月）

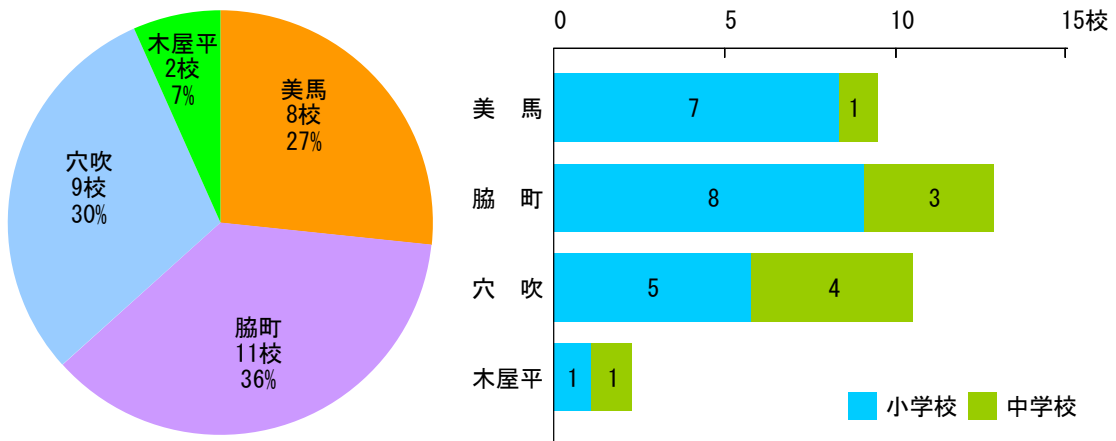
図表2-5 公共施設に占める学校施設建物延床面積



小・中学校・幼稚園
建物延床面積の合計9万1,156㎡、39%

資料：美馬市「美馬市公共施設の再編整備に関する基本方針」（平成23年3月）

図表 2-6 地区別にみた学校施設の状況



図表 2-7 市内小・中学校の立地状況 (調査対象 30 校)

No.	学校名	地区	利活用
1	郡里小学校	美馬地区	現在校
2	喜来小学校	美馬地区	現在校
3	芝坂小学校	美馬地区	現在校
4	重清東小学校	美馬地区	現在校
5	重清西小学校	美馬地区	現在校
6	美馬中学校	美馬地区	現在校
7	切久保小学校	美馬地区	廃校
8	重清北小学校	美馬地区	廃校
9	江原南小学校	脇町地区	現在校
10	江原北小学校	脇町地区	現在校
11	清水小学校	脇町地区	現在校
12	脇町小学校	脇町地区	現在校
13	岩倉小学校	脇町地区	現在校
14	江原中学校	脇町地区	現在校
15	脇町中学校	脇町地区	現在校
16	岩倉中学校	脇町地区	現在校
17	大谷小学校	脇町地区	廃校
18	川原柴小学校	脇町地区	廃校
19	江原東小学校	脇町地区	廃校
20	三島小学校	穴吹地区	現在校
21	穴吹小学校	穴吹地区	現在校
22	三島中学校	穴吹地区	現在校
23	穴吹中学校	穴吹地区	現在校
24	宮内小学校	穴吹地区	休校
25	渕名小学校	穴吹地区	廃校
26	初草小学校	穴吹地区	廃校
27	古宮中学校	穴吹地区	廃校
28	口山中学校	穴吹地区	廃校
29	木屋平小学校	木屋平地区	現在校
30	木屋平中学校	木屋平地区	現在校

(3) 小・中学校の敷地・建物面積の状況

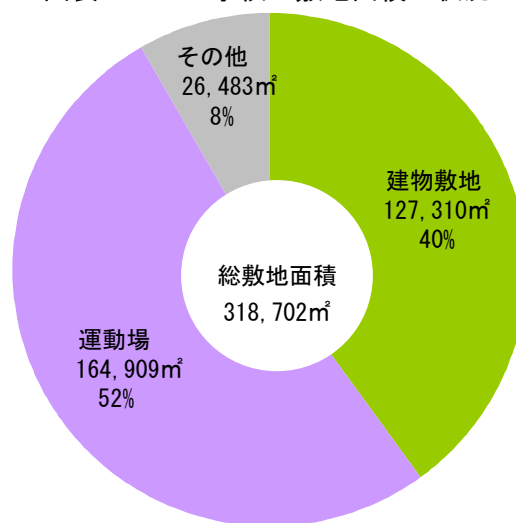
ア 学校の敷地面積の状況

学校の総敷地面積は31万8,702㎡、1校当たりの平均敷地面積は1万623㎡となっている。

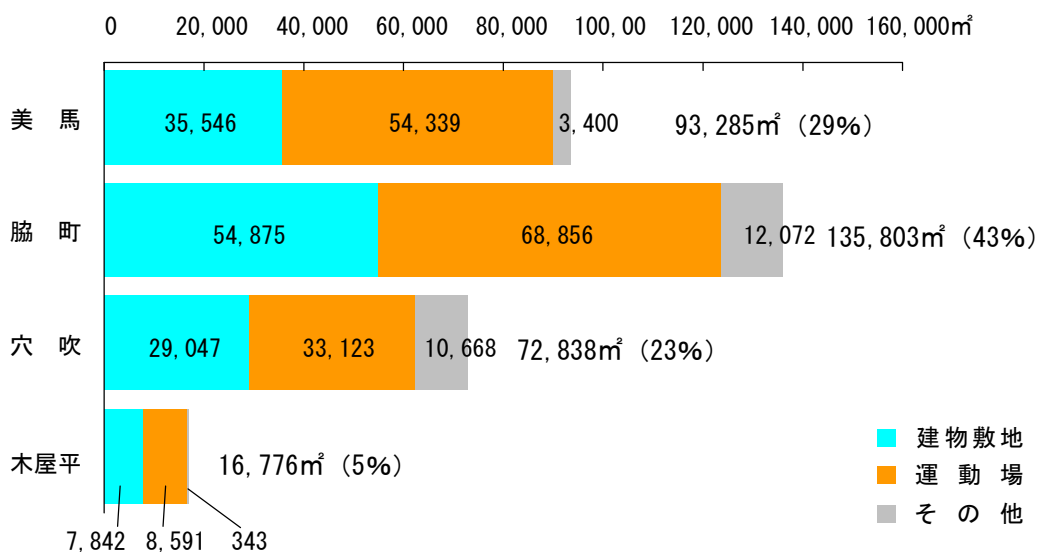
敷地面積の内訳は、建物敷地12万7,310㎡(40%)、屋外運動場(以下、運動場という。)16万4,909㎡(52%)、その他(プール、駐車場等)2万6,483㎡(8%)となっている。

地区別の敷地面積の状況は、美馬地区は9万3,285㎡(29%)、脇町地区13万5,803㎡(43%)、穴吹地区7万2,838㎡(23%)、木屋平1万6,776㎡(5%)で、おおむね地区別人口・児童生徒数を反映した敷地面積の規模となっている。

図表2-8 学校の敷地面積の状況



図表2-9 地区別にみた敷地面積の状況

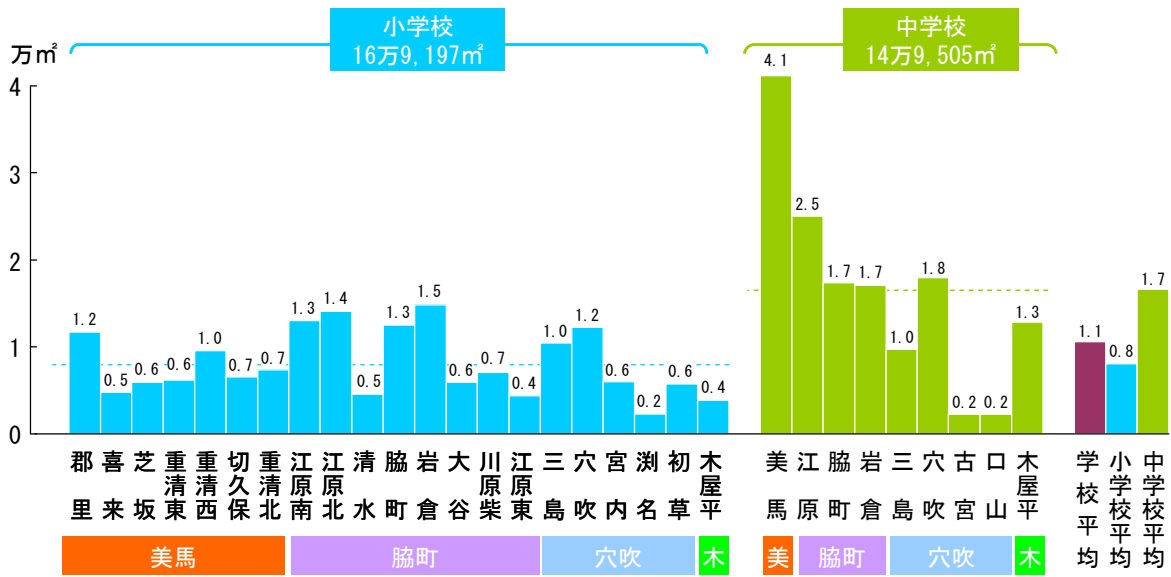


イ 学校施設の規模

① 敷地面積

学校別の総敷地面積をみると、小学校は16万9,197㎡、中学校は14万9,505㎡となっている。平均的な敷地面積規模は、小学校が8,057㎡(参考:文科省小学校設置基準では4学級小学校規模は8,221㎡)、中学校が1万6,612㎡(参考:同8学級中学校規模1万5,584㎡)となっている。

図表 2-10 学校別にみた敷地面積の状況

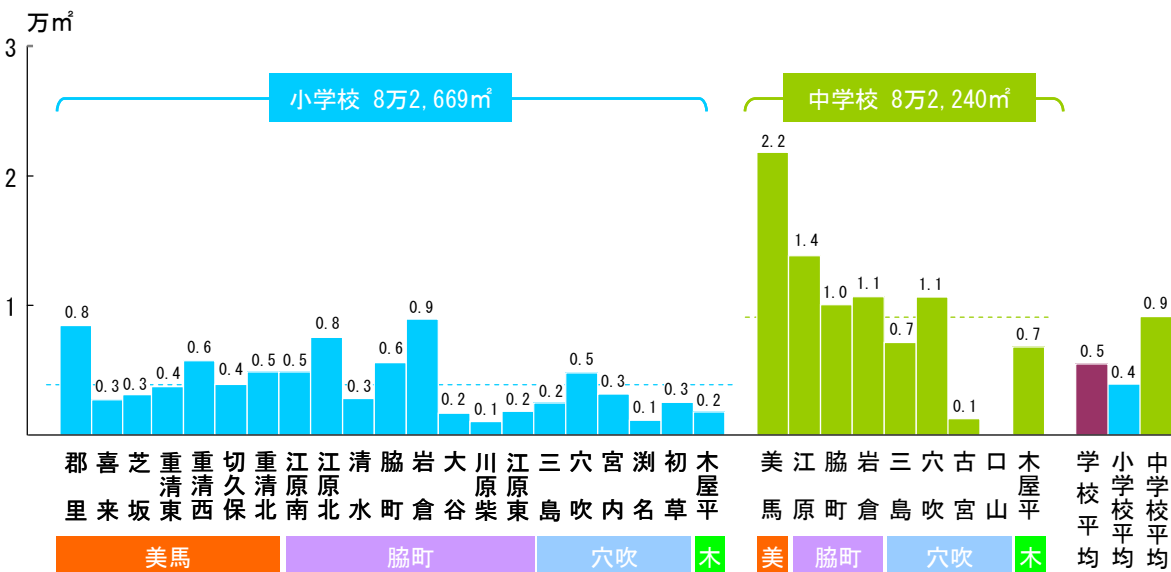


② 運動場

学校の運動場の総面積は16万4,909㎡で、小・中学校別の運動場総面積は、小学校が8万2,669㎡、中学校が8万2,240㎡となっている。

平均的な運動場の面積規模は、小学校が3,937㎡、中学校が9,138㎡で、小・中学校合わせた学校平均は5,497㎡となっている。ちなみに、公式サッカー場は約7,000㎡、公式野球場は約1.2万㎡の面積規模が必要であり、こうしたスポーツ競技の活用等については、公式戦以外の練習、交流試合等の活用に限られるものも少なくない。

図表 2-11 学校別にみた運動場の状況

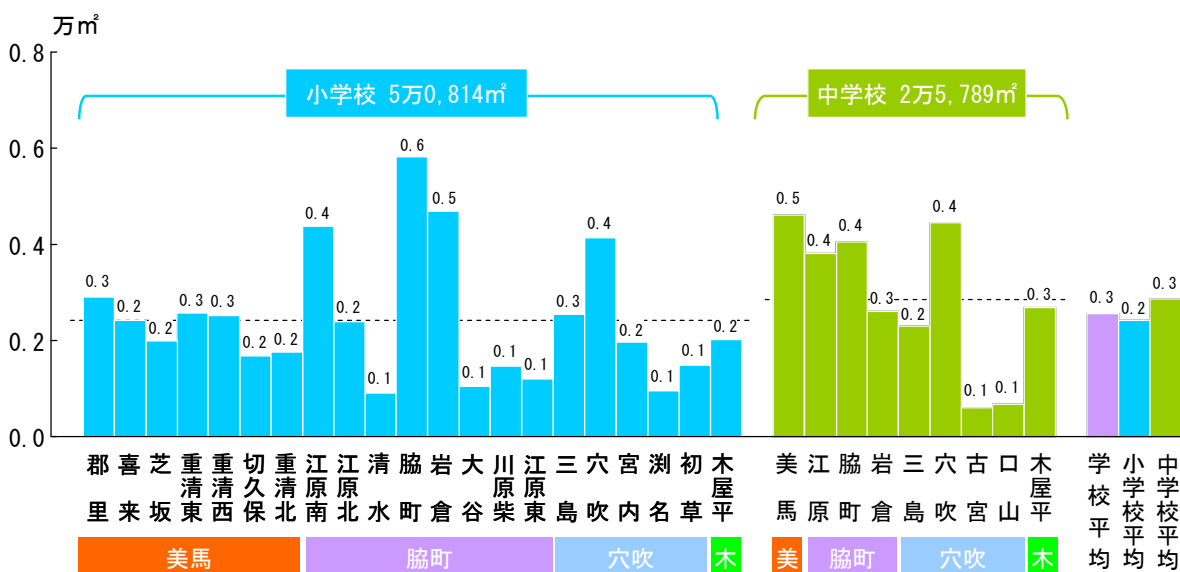


③ 建物

学校の建物延床総面積は7万6,602㎡で、小・中学校別で見ると、小学校が5万0,814㎡、中学校が2万5,789㎡となっている。1校当たりの平均的な建物延床面積の規模は、小学校2,420㎡、中学校2,865㎡、学校平均2,553㎡となっている。

建物延床面積の規模が大きい学校をみると、脇町小学校が約6,000㎡、岩倉小学校、美馬中学校が約5,000㎡となっている。ちなみに美馬市役所（穴吹庁舎）の建物延床面積は約6,000㎡であり、学校施設の延床面積が比較的大きいことがわかる。

図表2-12 学校別にみた建物延床面積の状況



ウ 市民1人当たり施設面積

市民1人当たりの施設面積は、敷地9.8㎡、運動場5.1㎡、建物（延床面積）2.4㎡となっている（平成25年4月人口ベース）。市民（地区住民）1人当たりの施設スペースは、広狭に地域格差がみられる（木屋平地区では広く、脇町地区では狭い）。

図表2-13 市民（地区住民）1人当たりの施設スペース

